



テクノス通信

Nursing
～ナースिंग～

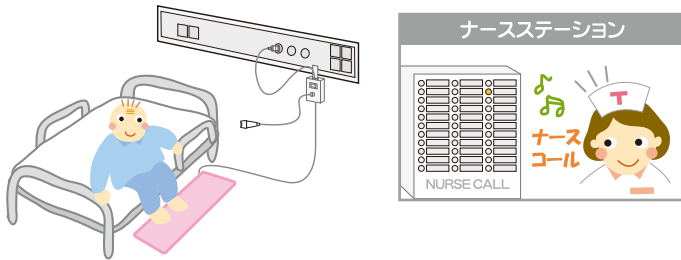
9月
vol.88
2016

今月のテーマ 「離床センサーの報知方法について」

様々な種類の離床センサーがありますが、報知方法は大きく分けて2種類で大変シンプルです。
今回は改めてセンサーの報知方法と、それぞれの特徴についてご紹介します。

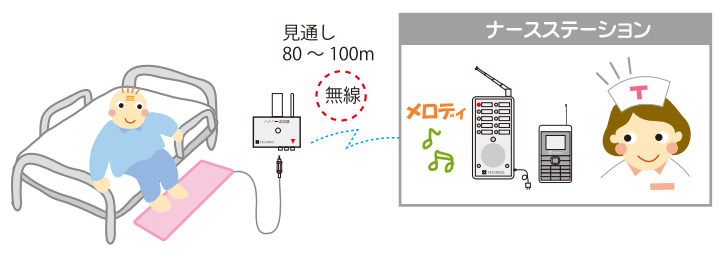
ナースコール連動タイプ

センサーが作動するとナースコールで報知します。



専用受信器タイプ

センサーが作動すると専用受信器で報知します。



報知方法の比較表

	ナースコール連動	専用受信器		ポイント
		固定タイプ 	携帯タイプ 	
価格	○	△	△	ナースコール連動は専用受信器に比べ安価。
報知音の変更	△	○	○	専用受信器はセンサーごとに報知音を変更できます。
音声録音	—	○	×	専用受信器（固定タイプ）は音声を録音し、報知音として使用可。
センサーの設置場所	△ <small>コードレスセンサー</small>	○	○	専用受信器タイプのセンサー（送信器付）はどこでも設置ができます。
報知距離	○	△ <small>見通し100m</small>	△ <small>見通し80m</small>	専用受信器は送信距離の制限がありますが、ナースコール連動タイプはどの部屋からも必ずナースステーションに報せます。
介護保険レンタル	△ <small>一部市町村有</small>	○	○	専用受信器（家族コール・徘徊ノン）は介護保険レンタル対応製品です。ナースコール連動タイプも一部の市町村で対応がありますので自治体にお問い合わせください。

病院・施設の導入例



A 病院様の場合

【要望】 スタッフが常時携帯している PHS で院内のどこにいても、離床センサーの報知を受信したい。

ナースコール連動タイプを購入

ナースコールを押した時と同じように PHS で報知するので安心です。



B 施設様の場合

【要望】 複数の離床センサーを使用しているため、誰のセンサーが作動したかを報知音で判別できる機能があればうれしい！

専用受信器タイプを購入

ハイパー受信器 10（専用受信器）にはセンサーが作動すると録音した音声を流せる機能があります。部屋や利用者の名前を録音しておくことで瞬時に判断ができ助かっています！

2016年10月12日～14日にHCR2016（国際福祉機器展）にて新製品を発表します！ご期待ください！